

## 国の施策

◎青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促すために  
・すべての青少年の生活に体験活動を根付かせ、体験を通じた試行錯誤、切磋琢磨を見守り支えよう。(平成19年1月中央教育審議会答申)  
◎様々な体験活動の機会を子どもたちに「意図的」「計画的」に提供し、心豊かな子どもをはぐくむ。(平成11年6月生涯学習審議会答申)  
◎青少年の社会で「生きる力」や創造力をはぐくむため、自然体験、国際交流等を充実させる。(平成20年12月 青少年育成施策大綱)

国立青少年教育振興機構の教育に関する目標(中期目標・中期計画より)

○青少年及び青少年教育指導者等を対象とする研修等の推進  
○青少年及び青少年教育指導者等を対象とする研修に対する支援  
○青少年教育に関する関係機関・団体等との連携促進  
○青少年教育に関する調査及び研究の充実

## 青少年教育の課題への対応

○青少年の課題や困難を有する青少年の問題等に対応した、公立の青少年教育施設等で活用できるモデル的なプログラムの開発  
○青少年の国際交流の推進  
○青少年教育指導者等の養成及び資質の向上  
○青少年の体験活動等の重要性についての普及・啓発  
○研修利用の促進及び研修に対する支援の推進  
○青少年教育に関する関係機関・団体等との連携促進  
○青少年教育に関する調査・研究の体制強化及び実施

## 国立若狭湾青少年自然の家の特性

○若狭湾国定公園の中心部の「田島半島」の一画にあり、眼前にはリアス式の美しい海岸美を形成している。この恵まれた立地条件を生かし、カッターやスノーケリング・シーカヤック・水泳・ボートなどの海型の活動が展開できる。  
○山側には、半島をとりまく自然遊歩道があり、その周辺にはクロマツ・コナラ・ヤマザクラ・ヤブツバキなどが群生しており、四季折々の美しさが味わえ、ハイキングやグリーンウオッチングなどの野外活動や自然学習ができる。  
○大陸文化や食材(鯖)が若狭から京都へと流通していった歴史があり、数多くの貴重な文化財に恵まれている。  
○近隣の施設や漁港(漁村)と連携し、海の道を活かしたプログラム展開ができる。

## 事業運営の方針

1 教育事業の充実を図るため、  
○若狭湾の魅力を生かし、国立施設としての特色ある事業を推進する  
○「子ども・若者ビジョン」「機構活性化プラン」を踏まえ青少年に関する国の課題に対応した事業を推進する  
○地域の指導者やボランティアを対象とする指導者養成事業を推進する  
○青少年に対する異文化理解の増進を図る事業を推進する  
○青少年の体験活動等の重要性を発信するための事業を推進する

2 研修支援事業の充実を図るため、  
○利用団体の教育的ねらいを踏まえた指導・助言の充実を図る  
○若狭湾の立地条件を活かし、教育的な観点に立った活動プログラムの充実を図る  
○海の活動の充実に向けた調査研究を推進する

3 ニーズに合う施設運営と利用者サービスの向上を図るため、  
○利用に関するホームページを充実する  
○広報活動の積極的な取り組みを推進する  
○職員の意識・技能を高める研修を推進する  
○地域の関係機関・団体との相互連携を推進する

## 利用者の立場にたった施設像

○利用しやすい施設  
○安心して活動できる施設  
○充実感が味わえる施設

## 研修支援事業

### 研修支援事業の重点

○活動プログラムの開発等  
・森と海の環境学習プログラムの開発及び普及  
・新規活動プログラムの利用団体への普及  
・学校長期自然体験活動の魅力あるプログラムの開発及び普及  
・全年齢期の青少年の研修利用に対応するためのプログラム開発

○利用者サービスの充実  
・学校長期宿泊体験学習に対応した受入  
・特定の状況(不登校・機能障害等)にある児童・生徒への支援  
・カッター・シーカヤック・スノーケリングを中心とした直接指導の充実  
・ホームページの工夫、充実  
・利用者の立場に立った情報の提供  
・CD-ROM版利用ガイドによる施設・活動紹介  
・団体への直接的な指導の推進(ボート活動・水泳等)  
・食事、入浴、つどい等の生活時間、方法の改善  
・未利用学校への積極的な広報活動  
・効率的・効果的な事前打ち合わせの開催  
・学校や施設を訪問する出前授業の充実

○冬期間における利用の促進  
・申込み、事前打ち合わせ等の簡素化  
・文化・スポーツサークル等への積極的な広報活動  
・送迎マイクロバスの運行

## 教育事業

### プログラム開発事業

○海の冒険シリーズ  
＜新規＞  
①キッズ海のたんけんたい(小学1～3年生)  
②若狭湾 海の自然学校(小学4～6年生)  
③キッズ海のたんけんたい同窓会(参加者と保護者)  
④若狭湾 海の自然学校同窓会(参加者と保護者)

○海の活動が子どもたちに与える教育効果に関する研究  
「より楽しく効果的な海の活動をめざして」  
○体験活動が青少年の意欲向上に与える影響に関する調査研究  
～課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究～  
○若狭の自然の中で＜継続＞～東海市との連携～

### 国際交流事業

○海は人をつなぐ＜継続＞  
～南ソウル大学との連携から～

### 指導者養成研修事業

○ボランティア養成セミナー＜継続＞  
(高校生、大学生、高等専門学校生、専修学校生各種学校生、社会人)  
○自然体験活動指導者養成研修＜継続＞  
(教職員・国公立施設指導系職員・少年団体指導者等)

### 普及啓発事業

○漁家体験シリーズ  
～食文化の伝承～＜継続＞  
①へしこ作り ②なれずし作り  
(子どもを含む家族、その他希望者)  
○わくわく体験塾  
～みつけよう若狭の色と音～＜継続＞  
(小学4年生～中学生)  
※近隣5施設連携事業

## その他の事業

### 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業＜継続＞

①若狭湾フェスティバル  
②オバマのオオハマでアロハ  
③めざせ！トビーの達人  
④われらトビーの大家族(家族、一般)

### 利用促進事業

①所長杯親善ゲートボール大会  
＜継続＞

連携・協力 発信

福井県内社会教育施設、福井県・他府県教育委員会(愛知・岐阜・滋賀・大阪・京都)、小浜市・若狭町・美浜町、嶺南地区小・中学校、地元公民館、地元観光協会など